

IEC活動推進会議議長就任にあたって



株式会社 日立製作所 鈴木 教洋

先般 6 月 1 日に開催されました第 26 回 IEC 活動推進会議 (IEC-APC) 総会にて、ご指名・ご承認を頂き、2016 年度の IEC-APC 議長に就任致しました鈴木でございます。私自身、入社して 10 年間ほど放送方式の標準化の仕事に携わっていた経験があり、標準化やルール形成には強い思いがあります。この 1 年間、議長として皆さまと共に IEC 標準化推進活動に参画させて頂くことを誠に光栄に思っております。

今年の 4 月、経団連より『新たな経済社会の実現に向けて～「Society 5.0」の深化による経済社会の革新～』という提言が発表されました。Society 5.0 とは、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く 5 番目の社会、サイバー空間とフィジカル空間が高度に融合した「超スマート社会」という未来像を意味します。その実現に向けた必要施策として様々な「壁の突破」を提言しており、技術の壁だけでなく、制度、人材、社会受容等の壁の突破について言及があります。その中には「戦略的な国際標準化の推進」という活動項目も掲げられています。

また IEC でもここ数年、システムアプローチに基づくシステムコミッティ (SyC) の活動が活発化しています。Smart Energy、Smart Cities 等、社会課題の解決を基点とした規格群検討を目的としており、従来型の TC/SC による個別技術分野に対する規格開発の範囲を大きく越える活動となっています。このような社会問題解決型のシステム規格分野において、日本の知見による貢献が大きく期待されています。IEC-APC の活動を通じて、日本がそのような形で参画していくことに貢献していきたいと考えています。

国際標準化活動には、専門知識・語学力、議論により合意形成を得ていく高いコミュニケーション能力等、様々なスキルが要求されます。これを担う人材は、やはり長期的に育成し人口を増やしていく必要がありますが、IEC-APC では ISO/IEC 国際標準化人材育成講座というプログラムで支援を行っています。このような活動を通じて、人材育成・普及啓蒙にも貢献していきたいと考えています。

これから 1 年間、会員の皆様のご支援、ご協力を頂き、IEC-APC を通して日本の国際競争力向上の一助となるよう務めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上